

平成28年度 学校目標

【小学校】

No.	学校名	学校目標
1	八戸	「言語活動をとおして、伝え合う力の育成を図る」
2	城下	「確かな学力、基本的生活習慣の定着」
3	吹上	「自分の思いや考えをもち、生き生きと表現する子どもの育成」
4	長者	「論理的思考力・表現力を伸ばす指導の工夫」
5	函南	「自ら考え、共に学び合う力の育成」
6	中居林	「基礎・基本の確実な定着を図るために、学習習慣を身につけさせる」
7	柏崎	「よりよい自分をめざし、磨き合い、認め合う柏っ子の育成」
8	小中野	「思考力を中核とし、それを支える基礎力と、使い方を方向づける実践力を意識した授業を行う」
9	江陽	「学ぶ意欲を高める」
10	湊	「基礎学力・聞く力・話す力を鍛える～学習指導の工夫と学習習慣の育成を通して～」
11	青潮	「のびる 青潮っ子」～一人一人のよさを認め励ますプラス評価を基盤として～
12	白銀	「基礎・基本の定着を図る」
13	白鷗	「問いをもち、みんなのよさを生かして解決する子」の育成
14	白銀南	「授業の充実と望ましい学習習慣・生活習慣の形成」
15	町畑	「町畑スタンダード」の定着
16	美保野	「思いや考えを、思いっきり表現する子どもの育成」
17	鮫	「心づくりを基盤とし、学力の向上を図る」
18	種差	「共に学び合い『わかる力』を育てる複式の授業づくり」
19	大久喜	「基礎・基本の確かな定着を図る」
20	金浜	「自分の考えを伝える力（聞く・話す）を育てる」
21	根城	「児童に『活力と規律』の土台となる基礎・基本を育てる」
22	白山台	「学習への達成感の向上を図る」
23	江南	「読む力の育成」
24	田面木	「理由をつけて考えや思いを説明できる子どもの育成」
25	下長	「学習の基本を身に付けさせる」（姿勢・返事・ノートを取り方）
26	城北	「自分に自信を持って学習に取り組む子の育成～各教科における学習指導を中心として～」
27	高館	「自分の考えや思いをはっきり話す力を伸ばす」
28	根岸	「明るく、たくましく、前向きに生きる子」～元気・根気・勇気をもって自ら活動する子の育成～
29	日計ヶ丘	「共に高め合う児童の育成」
30	是川	「心のふるさと是川～創立140周年の節目で振り返る」
31	三条	「学ぶ意欲と読み取る力を高める」
32	西園	「基礎・基本」の確実な定着
33	明治	「学習意欲の向上」
34	桔梗野	「基本的生活習慣の定着と確かな学力の向上」
35	轟木	「どの子にも確実な学力の定着と主体的な学習者の育成」
36	多賀	「基礎・基本の確かな定着」
37	多賀台	「学び方を身に付けさせ、考えを伝え合う力の育成」

38	豊崎	「豊崎に誇りに持ち、愛着を深める子」
39	新井田	「自分の力を信じ、めあてをもってがんばる子の育成」
40	旭ヶ丘	「生き生きと学び・活動する子どもの育成」
41	南郷	「新生 南郷小！ 基礎・基本の確立」
42	島守	「基礎・基本の確かな定着を図る」
43	田代	「自分の考えを、自信をもって適切に伝え合える児童生徒の育成」

【中学校】

No.	学校名	学校目標
1	第一	「学力の男女差解消を図る」
2	第二	「たくましい生徒の育成～有用感の向上を通して～」
3	第三	「確かな学力の育成を図る～特別支援教育の視点を生かして～」
4	長者	「自ら学び、考え、行動する生徒の育成～一人も見捨てない集団づくりの実践」
5	小中野	「自己有用感をともなった自己肯定感がもてる生徒の育成」
6	江陽	「認め合い 支え合い 高め合い」をキーワードに学ぶおもしろさ、学習意欲を高める学習活動の推進
7	湊	「静」と「動」を共有できる生徒の育成
8	白銀	「確実に基礎学力を定着させ、意欲的に学力向上に取り組むことのできる生徒を育成する」
9	白銀南	「目的意識と向上心を持ち、主体的に活動する生徒の育成」
10	鮫	「基本的生活習慣の定着」と「志のある学習」
11	南浜	「夢に向かって目標を持ち、継続的に取り組む生徒の育成」
12	根城	「何事にも意欲を持って取り組む生徒の育成」 ～キャリア教育の視点に立った取り組みを通して～
13	白山台	「自己を高め、望む生き方を実現できる力の育成を図る」
14	下長	「認め合い 支え合い 高め合いで笑顔のある学校にしよう」
15	北稜	「学習意欲を高めるための、学習環境と学習指導法の改善」
16	是川	「自分の進路を考え、それに向かって努力する生徒の育成」
17	三条	「学ぶ楽しみを知る生徒の育成」
18	明治	『やればできる』の気概を持ち、何事にも主体的・意欲的に取り組む生徒の育成 ～チャンス チェンジ チャレンジ の場の設定を通して～
19	市川	文武両輪とそれを支える絆シャフトの取組により 「コミュニケーション能力（話す・聞く・読む・書く）を高め、相互に貢献し合う生徒の育成」
20	豊崎	「つまづきを乗り越えようとする意欲をもった生徒の育成」
21	大館	「目指す自分像に向かって、よく考え、自分から行動する生徒」 ～ユニバーサルデザインの視点を生かして～
22	東	「自己実現にむけて主体的に取り組む生徒の育成」
23	中沢	「個を高めるための、集団力の向上」
24	島守	「見通しをもって学習や諸活動に取り組む生徒の育成」
25	田代	「自分の考えを、自信をもって表現できる児童生徒の育成」～挨拶・返事・行動・感謝～

平成28年度 学校評価の実施結果（概要）

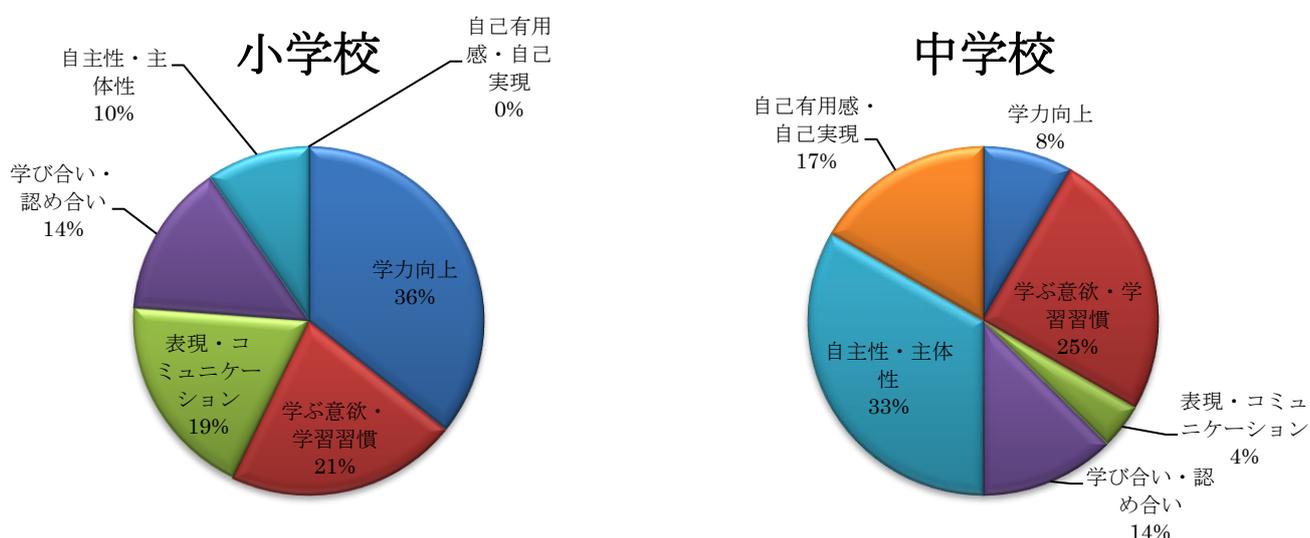
今年度も市内各小中学校では、学校評価を実施しました。学校評価は、教育活動、その他の学校運営の状況について、児童・生徒、保護者に対する学校評価アンケートをもとに教職員による自己評価、学校関係者評価を実施し、その結果に基づき学校運営の改善を図るとともに、学校・家庭・地域社会の連携による学校づくりを進めることを目的としています。

八戸市教育委員会では、学校運営の改善と発展を目指し、学校評価を実効性あるものとする観点から、学校評価を報告することとしました。

ここでは、市内全小・中学校から報告された学校評価結果について概要を報告します。

1 各校の学校目標の設定状況について

- ・各学校では、学校評価の様々な項目の中から、前年度の学校評価結果及び児童・生徒の実態等を考慮し、今年度、特に重点を置いて達成を目指す項目を学校目標として設定し、教育活動に取り組んでいます。
 - ・市全体での目標設定の状況は、学力向上（基礎・基本の定着，思考力等）に関する内容26%、学ぶ意欲・学習規律に関する内容23%、自主性・主体性に関する内容20%、表現・コミュニケーションに関する内容14%、学び合い・認め合いに関する内容14%、自己有用感・自己実現に関する内容6%の順となっていました。
- なお、小中学校別の割合は、下記の通りになっています。

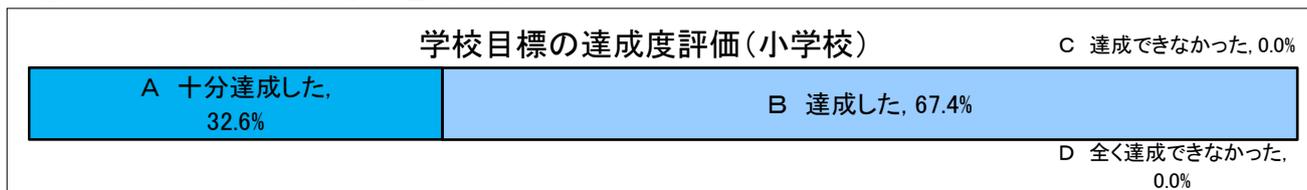


2 達成状況について

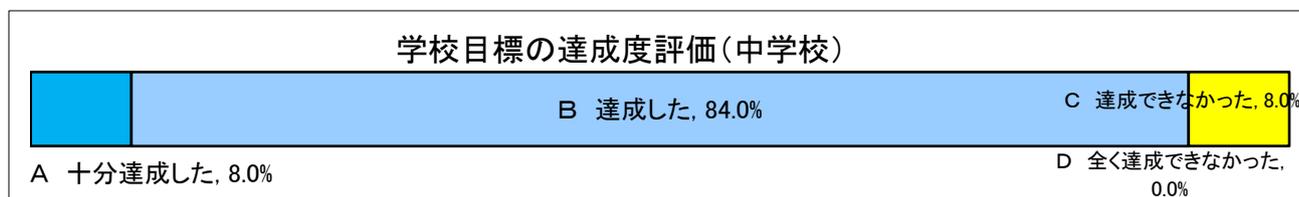
(1) 学校目標の達成状況

- ・各学校で設定した評価基準に対し、4段階で評価しています。

①市内小学校の学校目標の達成状況



②市内中学校の学校目標の達成状況

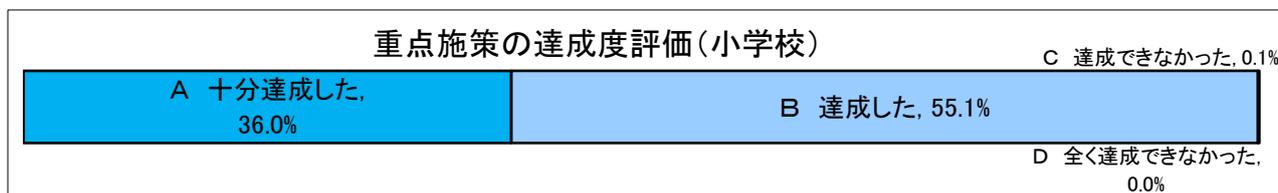


- ・小学校はA、Bを合わせると100%、中学校は92%となり、ほとんどの学校が今年度の学校目標をおおむね達成したと評価しています。

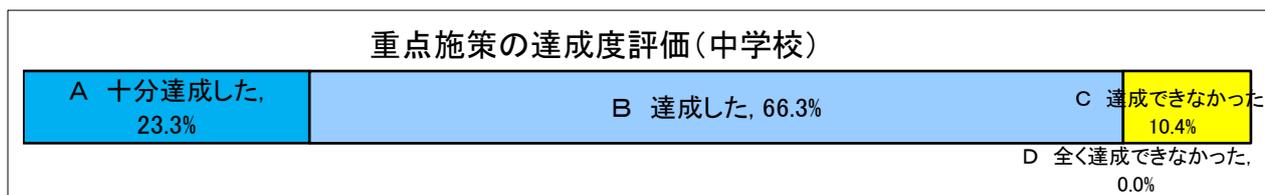
(2) 重点施策の達成度状況

- ・学校目標の達成に向けて、各学校では、2～7項目の日常的に取り組む方策(重点施策)を設定し、その達成状況を評価基準に照らして評価しました。

① 市内小学校の重点施策評価の集計結果



② 市内中学校の重点施策評価の集計結果



- ・小学校、中学校とも「A十分達成した」「B達成した」とされた項目が多くありましたが、「C達成できなかった」と評価された項目もありました。今後の改善方策を検討し、具体的な取組の改善を図っていくことでCの項目を減らしていくことと、「B達成した」で満足せず、「A十分達成した」の項目を増やしていくことが必要です。

3 今後の取組

各学校においては、学校評価の結果を真摯に受け止め、学校運営を見直し、次年度の教育課程を編成しています。児童・生徒がよりよい学校生活を送れるよう、引き続き、学校・家庭・地域社会が連携を図りながら、教育水準の保障・向上に努めていくことが必要です。